

1 授業実践

(1) 題材名「初恋」

(2) 題材について

① 本題材では、指導事項〔思考力、判断力、表現力等〕の「C 読むこと」「ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。」を扱う。本題材は文語定型詩であり、格調高い反面、中学生には言葉遣いの難しさを感じさせるかもしれない。しかし、「林檎」「初めし」という言葉の多用から醸し出されている初々しい初恋の雰囲気には、現代の中学生にも共感できる面があると考えられる。特に「林檎」は、本題材において初恋の象徴としての役割を担っており、象徴表現による効果を考えさせる学習に適している。

② これまでには「月夜の浜辺」や「落葉松」の学習で、言葉一つ一つの意味を丁寧に理解させたり、情景を具体的にイメージして絵にさせたりする活動を通して、情景や心情を捉えることに取り組んできた。本学級は、積極的に意見を発表して前向きに授業に取り組む一方で、詩に対して苦手意識をもっている生徒も多い。事前調査によると、本学級では「詩を読むことは好きか?」という問いに対して、肯定的な回答をしたのは50%だった。

「詩を作る活動に興味・関心はあるか?」という問いに対して、肯定的な回答をしたのは46.7%だった。一方で「友だちの書いた作文や詩を読むことに興味があるか?」という問いに対しては、58.6%が肯定的な回答をした。友だちの詩を読む

活動の中で、生徒が詩を身近なものとして捉え、興味・関心をもって取り組めるように授業を行いたい。

③ 以上のことを踏まえて、本題材では以下の点に留意して指導を行う。

- ・ 情景を想像しやすくするために、「上げ初めし前髪」や「花櫛」「薄紅」のようなイメージしにくい語句や比喻表現・婉曲表現については写真やイラストを示したり、現代語に置き換えたりする。
- ・ ベン図や色の異なる林檎の写真を用いて、林檎が二人の関係性や登場人物の象徴として用いられていることに気付かせる。
- ・ 象徴表現を意識して詩を読むことができるようにするために、第5連を作詩し、それを互いに評価し合う活動を行う。
- ・ 詩を推敲したり共有したりする活動を円滑に行うために、ロイロノートを活用する。

(3) 学習目標

- ① 「少女」の様子を表す言葉や「われ」の心情を表す言葉に注目させ、二人の初恋の情景を読み取ることができる。
- ② 本題材における「林檎」のもつ効果を捉え、象徴表現を活用できる。
- ③ 作者の意図を捉えながら文章を読もうとする態度を身につける。

(4) 学習指導計画

- ① 文章中の言葉から、詩に表現されている情景を捉える。・・・2時間
- ② 詩の内容や本題材における「林檎」の意味を踏まえて、第5連を作る。
・・・1時間
- ③ 友だちの詩を読み、表現の工夫と効果を解説する。・・・1時間 (本時)

(5) 本時の学習指導

① 本時の目標

友だちの詩の表現の工夫や効果を解説する活動を通して、作者の意図を捉えながら読むことの重要性に気付くことができる。

② 学習指導過程

学習内容および学習活動	予想される生徒の反応	指導上の留意点および支援
1 友だちの詩を読む。 2 これまでに学習した『初恋』の内容を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 自分が思い浮かばなかった言葉を使っている。 林檎が初恋を象徴していたな。 だんだんと二人の関係性が変化していたな。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時に作らせた詩から教師が選んでおき、それらの詩を見せる。
友だちの表現の工夫を解説しよう。		
3 友だちの詩の表現の工夫とその効果を考える。 (1) 提示された詩の中から最もよいものを選ぶ。 (2) 個人でワークシートに記述する。 (3) 班で意見を共有し、その詩の表現の工夫と効果を解説できるようにする。 4 考えを共有する。 (1) 選んだ詩のよさを「(表現の工夫)によって、(効果)が表現できている」の形で解説する。 (2) 自分たちの班で話し合ったことと比較しながら他の班の発表を聞き、気付いたことをメモする。	<ul style="list-style-type: none"> 赤く染まった林檎で、二人の恋心を表現できている。 林檎の残り香で「われ」の「きみ」に対する未練を表現できている。 第1連の「花ある君」という言葉を再度使うことで年を経ても変わらない思いを表現することができている。 同じ詩を選んだけど、解釈が違うな。 自分の班で気づけなかった効果だな。 作者がなぜその言葉を使ったのか考えながら読むことを意識する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「よさ」の定義を明確にするために【第4連までとのつながり・林檎の使い方】に特に注目するよう指示する。 苦戦している場合には、詩ごとのヒントカードを渡す。 1枚のホワイトボードに注目した表現を書き抜き、もう1枚にその表現による効果を書かせる。 各班の意見を比較できるように、同じ詩についての解説を並べて提示する。 各班の解説に対して質問させたり、他の班にも意見を求めたりして、問い返す。 「初恋」に限らず、他の題材を読む際にも生かせるような記述の振り返りを紹介する。
5 本時の学習を振り返り、詩を読むときに意識することをまとめる。		

③ 評価

- 友だちの表現の工夫と効果について考え、ワークシートに記述したり、話し合いの場で発表したりすることができたか。
- 作者の意図を捉えることの重要性に気付いて振り返りが書けているか。

2 成果と課題

友だちの作った第5連ということで、興味を持ち学習に取り組んでいた。各班での意見交換で気づきや考えの深まりはあったものの、全体共有の場での活発な議論ができなかった。全体共有する意見を焦点化して、意見を比較できるようにすればさらなる深まりが生まれただろう。ご指導いただいたことを生かして、今後も研究と実践を重ねていきたい。